

Un Sung Hero of Taiji
ほまれなき太地の英雄

2003年 10月 7日 太地のシー シェパードの乗組員が最初に攻撃された時、シー シェパード コンサベーション ソサエティーは次のようなメールを日本の太地から受け取りました。

.....Original Message.....
From: Taemi [mailto:appleeye@agate.pala.or.jp]
Sent: Tuesday, October 07, 2003 1:49 AM
To: paul@seashepherd.org
Subject: Taiji Japan

親愛なる キャプテン ポール ワトソン、

私は今日3人のシー シェパードのボランティアが和歌山県、太地で日本の警察に、イルカと鯨殺しを撮影したために逮捕されたというニュースを聞きました。
私は手助けすることができたのです！

私は太地に住む教師です。私はこの町のことをよく知っており、イルカと鯨を殺す計画を前もって知ることができます。私は以前、イギリスのグリーンピースに詳細な連絡をつけたことがあります。
—その友人がコンサベーションに通信したかどうかはわかりません—しかし、だれかが、ここに来て撮影をしたり抗議をするということが私にわかっていたならば、カメラマンの知らない、殺しの海を見渡せる丘の最良の場所を教えてあげることができたのです。。。。。

もし、ボランティアがふたたび、太地に来る場合は一私にお知らせください—
そうすれば私は手助けをいたします、しかしこのことはご内密に。

My contact details
George McInerney
4130 Taiji
Higashimuro gun
Wakayama-ken
649-5171
Japan
ukjoji@hotmail.com<mailto:ukjoji@hotmail.com>
0081 (0) 80 1400 3255

私たちはジョージの申し出を受け入れ、そして彼は太地にいるシー シェパードのボランティアたちにとって計り知れないほどの貴重な存在であることが証明されました。彼はイルカ殺しの親方の個人的なことも含む情報を私たちに提供してくれました。彼は殺戮を撮影する最良の地点を指し示してくれ、更に自宅に乗組員を招いて、自分のコンピューターでインターネットにつなぎ、メールを出させてくれました。

同時に彼は漁師たちとも話しをして、漁師側の人間であると思わせ、乗組員のまちがった情報を流し、そして彼らから更なる情報を手に入れました。

初め、ジョージはシー シェパードの乗組員との関連を秘密にして、黒幕でいたかったのです。しかし、おぞましい殺戮は公にすべきであると説得され、残酷なイルカと鯨殺しに反対する立場に立ったのです。

一人の教師として数年間、太地に住んでいる彼にとって、このことは偉大な勇気であり、賞賛に値することです。

シー シェパード コンサベーション ソサエティーはジョージ マクイネニのような強い味方を得たことは幸運であります。

Captain Paul Watson
Founder and President
Sea Shepherd Conservation Society
www.seashepherd.org
Director-Instituto Sea Shepherd Brasil
National Director -Sierra Club
Director-Farley Mowat Institute
paulwatson@earthlink.net